

# 設置機器紹介

## クリープ試験装置

耐火物は主に高温炉の炉壁として、使用される。特に長期間使用される大型の炉では、高温で長期間荷重の掛かった状態で保持される。この間に炉壁が収縮変形すると、構造体として問題が生じることになる。

従って高温、荷重下での挙動は、耐火物の重要な特性の一つである。クリープ試験装置は一定荷重を負荷し、一定の温度で長時間保持し、その間の変形率を測定する

ことができる装置である。

外観および試料設置状況を写真1、2に示す。

本装置の仕様を表1に示す。

試料形状は、50mmφ×50mmh（中央に12.5mmφ孔）の円筒形で、中央の孔に示差棒が入り、試料下面に示差管が配置され、両位置の変位差を差動トランスで検出する構造になっている。

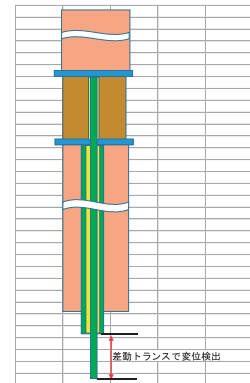
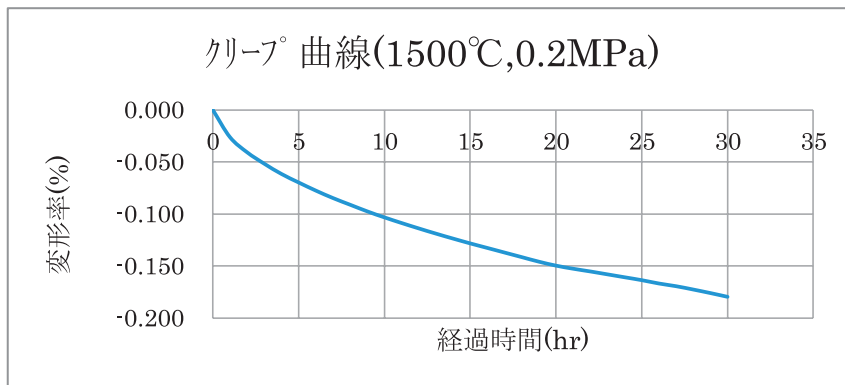


写真1(←) 2(↑)

表1 装置仕様

炉内雰囲気	大気
最高温度	1500°C
荷重	0.05-0.5MPa
試料形状	50φ×50h(中央12.5φ)mm

(技師 隠明寺準治)